

テーマ

〈配慮〉

九州大学大学院芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブでは今年度、「社会包摂デザイン研究会」として、社会包摂とデザインの関係を考えるうえで重要な言葉について、専門性を超えて議論する場をひらいています。今回のテーマは「配慮」という言葉について議論を交わすことを通じて、「配慮」に対する新たなデザインのアプローチが生まれればと思います。

後半には質疑応答の時間も準備しています。

オンラインでの開催となりますので、お気軽に聴講ください。

◆開催日時◆

2022 年 11 月 28 日(月)18:30~20:30

◆開催形式

YouTube 配信（大橋キャンパスデザインコモン 2F からの配信。対面での参加も 30 名まで可能）

◆講演プログラム

18:30 開会、会の主旨説明【長津結一郎（アートマネジメント、障害学）】

18:45 講演

講演1「行政からみる〈配慮〉」

梶原慶子

（一般社団法人 hare to ke lab 代表理事、行政職員）

講演2「色覚多様性からみる〈配慮〉」

須長正治

（色彩・視覚科学）

講演3「音響デザインからみる〈配慮〉」

高田正幸

（音響デザイン学、音響環境学）

講演4「人文学からみる〈配慮〉」

増田展大

（映像メディア論、視覚文化論）

19:25 クロストーク

20:10 質疑応答

20:30 閉会

◆募集要項◆

対象者：社会包摂やデザインに興味関心がある方

（参加無料。以下 URL か OR コードより**事前登録が必要**です）

URL：<https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/231>



◆主催 九州大学大学院芸術工学研究院附属社会包摂デザイン・イニシアティブ

◆共催 九州大学大学院芸術工学研究院附属デザイン基礎学研究センター



Design Initiative for
Diversity & Inclusion
社会包摂デザイン・イニシアティブ